



2月16日 一宮川河口クリーン事業

一宮川上流部から漂着する河口のごみ対策として、長期的に河川の環境保全に取り組む清掃ボランティア活動。一宮町や長生村の一宮川河口周辺などで行われ、(一社)千葉県建設業協会長生支部会員27社(34人)を含む総勢325人が参加。長生郡内7市町村や団体企業で構成する一宮川等流域環境保全推進協議会(会長:玉川孫一郎・一宮町長)が主催。年数回にわたり単独で実施する道路環境美化活動に加え、今回が4回目の参加。

6月12日 北総支部管内一斉清掃

『地域に根ざした建設業』をアピールする(一社)千葉県建設業協会北総支部青年部主体のボランティア活動で、49人(35社)が参加。今年で6回目。一斉清掃場所は、成田土木事務所管内の「空港通り寺台IC周辺」(国道285号ほか)と「天神峠トンネル」(県道成田小見川鹿島港線)、印旛土木事務所管内の印旛支所〜瀬戸交差点周辺(国道464号)と「北総支部〜大佐倉〜佐倉防署周辺」(国道296号ほか)の4か所。主に道路沿いのごみ拾いを中心に行い、回収したごみは各社に持ち帰り処分した。



4月20日 舞浜護岸清掃

(一社)千葉県建設業協会京葉支部会員70人が参加。県葛南土木事務所から根本嘉生所長らも。清掃場所は、浦安市舞浜2丁目の旧江戸川舞浜高潮堤防護岸。舞浜大橋から堀江橋、舞浜ローズタウン交差点堤防側の約800mで、漂流・漂着ごみ、堤防に捨てられた一般ごみやペットボトル、あき缶などを分別回収。ごみの量は2tトラック数台分で、浦安市のごみクリーンセンターに搬送。浦安市の河川や海岸では現在、上流部からのごみや東京湾からの漂着ごみの流れ着くことが深刻な問題に発展。特に、6年前に整備した舞浜高潮堤防護岸には大量のごみが漂着し、これらが三番瀬や市川野鳥の楽園の水辺に通じることがわかっている。



6月24日 富津下洲海岸清掃

(一社)千葉県建設業協会君津支部と富津市建設業協同組合の共催、参加者は総勢75人。今年で5回目。県君津土木事務所の中山拓也所長、富津市の高橋恭市副市長、県中部林業事務所の武井良彦所長らも参加。東京湾の潮の流れの関係で、ごみが漂着しやすい環境の「下洲海岸」の砂浜約2kmにおいて、「燃えるごみ」「燃えないごみ」「資源物」に分けてごみ拾いを実施。砂浜に散乱する流木やペットボトル、タイヤなど、各人が拾い集めたごみを運ぶタイヤシャベルが、砂浜とごみの集積場を幾度となく往復する大掛かりなボランティア清掃。富津市が手配した清掃車3台分のごみを回収。



5月25日 ゴミゼロ運動

(一社)千葉県建設業協会八日市場支部の会員12社が匝瑳市主催の「ゴミゼロ運動」に参加。当日は、各社が持ち込んだ10台余の2tダンブが手分けして市内の集積所を回り、ペットボトルや空き缶などの資源ごみのほか、早朝から市民が拾い集めたごみを回収し、匝瑳市ほか二町環境衛生組合の処理場に搬入。作業に先立ち太田安規・匝瑳市長が、八日市場建設会館に激励に訪れた。

6月30日 黒部川左岸清掃

(一社)千葉県建設業協会香取支部会員46人が参加。香取市小見川地先の黒部川左岸(新開橋付近)で行われた「2014年度香取土木事務所管内水防合同訓練」の開始前に清掃活動を実施。



7月4日 旧佐原給食センター協など環境美化清掃

(一社)千葉県建設業協会香取支部の青年部会で構成する建青会から12人が参加。佐原小学校と神南小学校の要望による「旧佐原給食センター協と神南小付近の除草・清掃」(A班)、香取市教育委員会の要望による「旧利北分校の危険遊具撤去」(B班)。バックホウやチェーンソー、草刈り機などを用いて、雨の中での一日がかりの作業。

集合写真で綴る

「頑張っています、建設業！」



建設業協会編／2014年上期

7月6日 矢指ヶ浦海岸清掃ボランティア

旭市建設業災害対策協力会から36社・87人が参加。きれいな旭をつくる会(会長・明智忠直市長)の主催による清掃ボランティアとして、地域住民らとともに海岸線の清掃。東日本大震災の1か月前に設立した旭市建設業災害対策協力会では、同年から参加して今年で4回目。



7月10日 夷隅文化会館構内清掃

(一社)千葉県建設業協会夷隅支部会員29人(24社)が参加。同会館野球場脇広場で実施した「2014年度夷隅土木事務所管内水防合同訓練」に引き続き実施。九州地方に上陸した台風8号の到来で一時風雨が強まる中、竹ぼうきを手に構内の落ち葉などを掻き集めた。



7月16日 鴨川前原海岸清掃

(一社)千葉県建設業協会鴨川支部の社会貢献活動。約2kmに及ぶ海岸(砂浜)清掃作業で、支部会員45人(19社)が参加。地元建設業による独自のボランティア活動として定着。海岸管理者である県土整備部鴨川出張所の中村正美出張所と鴨川市の長谷川孝夫市長らが応援に駆け付けた。会員が2tダンブとタイヤシャベル、バックホウを提供。波で打ち上げられたごみやペットボトル、竹、木片、海藻などを回収し、鴨川市内の清掃工場に運んだ。



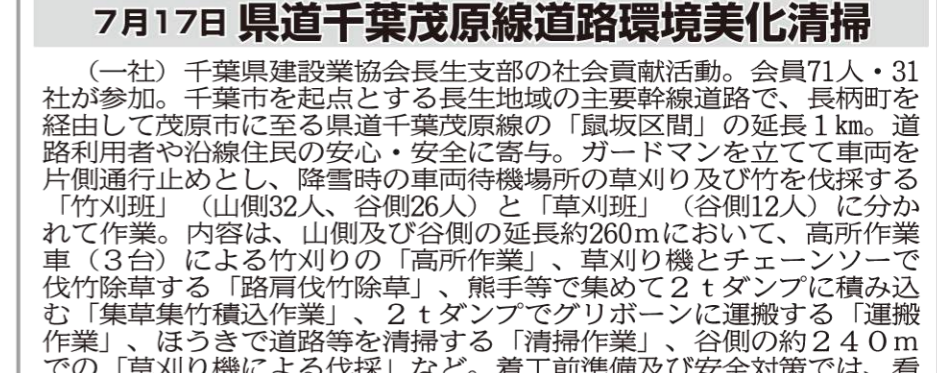
7月12日 いなぎの浜清掃

(一社)千葉市建設業協会、(一社)千葉県建設業協会千葉支部、協同組合千葉電協協会、協同組合千葉設備協会、千葉市造園緑化協同組合の主催。通算16回目、ボランティア参加者は総勢550人以上、ごみの量は2tダンブ20台分。



7月17日 県道千葉茂原線道路環境美化清掃

(一社)千葉県建設業協会長生支部の社会貢献活動。会員71人・31社が参加。千葉市を起点とする長生地域の主要幹線道路で、長柄町を經由して茂原市に至る県道千葉茂原線の「鼠坂区間」の延長1km。道路利用者や沿線住民の安心・安全に寄与。ガードマンを立てて車両を片側通行止めとし、降雪時の車両待機場所の草刈り及び竹を伐採する「竹刈班」(山側32人、谷側26人)と「草刈班」(谷側12人)に分かれて作業。内容は、山側及び谷側の延長約260mにおいて、高所作業車(3台)による竹刈りの「高所作業」、草刈り機とチェーンソーで伐竹除草する「路肩伐竹除草」、熊手等で集めた2tダンブに積み込む「集草集竹積込作業」、2tダンブでグリボーンに運搬する「運搬作業」、ほろきで道路等を清掃する「清掃作業」、谷側の約240mでの「草刈り機による伐採」など。着工前準備及び安全対策では、看板設置(前後4枚、土のうで固定)、三角コーン設置(20個程度)、支部のぼり旗設置(ガードレール、鉄筋棒等)も行った。



8月3日 江戸川環境美化運動

前夜の「松戸火花大会イン2014〜みんなであげる夢火花〜」の会場となった江戸川河川敷周辺において、松戸建設業協同組合の組合員57人が午前5時から作業を開始。地域貢献活動の一環として同組合が5月に行った「江戸川クリーン大作戦」に引き続いてのもので、(一社)千葉県建設業協会東葛支部が協賛。



7月18日 国道297号市原バイパス道路清掃

(一社)千葉県建設業協会市原支部の社会貢献活動。支部会員45人が参加。作業箇所は、国道297号と同バイパス。(主)五井本納線の側道。3班に分かれて約2時間にとり作業を実施。



7月25日 根本名川みなでおそうじ2014

「良好な河川環境を創出するとともに河川愛護思想の普及」を目的としたボランティア清掃で、県成田土木事務所が主催。(一社)千葉県建設業協会北総支部会員50人をはじめ、一般市民など総勢240人が参加。今年で20回目。北総支部会員が依頼された作業は、長靴・胴長を着用し、河川内に投棄された自転車などの廃棄物の収集と、回収場所における運搬車への積み込みなど。同おそうじによるごみの量は近年、減少傾向にあったが、今年のごみの総量は昨年の2倍以上にあたる2tトラック5台分に及んだ。

